

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年 3月 5日

長野地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	11	課題区分	C		
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属 商工観光課
事業名	体験と交流を軸とした地域の特長を生かした広域観光推進事業			電話	8-245-2237
				E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	長野圏域の特色や強み、長野らしさを切り口とし、興味や知的好奇心を喚起する観光体験ルートを設定し、地元ガイドや語り部の案内とともに学び(交流)しながら圏域内を周遊する「学びツーリズム」の確立を図る。			
	現状と課題	長野地域の観光地利用者数は1,500万人いるが、宿泊する人の割合が少ない傾向にあり、地域に滞在させ、周遊させるための地域一体となった取り組みが必要。			
概要	内容 (変更後の内容)	<p>1 圏域内への誘客を図るテーマ別モニターバスツアーの催行</p> <p>①テーマ:『産業』 信州・地酒アドバイザーとともに巡る「ながの酒蔵ツーリズム」 【着地型】長野市・小布施町・信濃町</p> <p>②テーマ:『歴史』 戦国武将や文化人が活躍した歴史の舞台を学ぶ～長野サムライルート～ 【首都圏発着型】坂城町・千曲市・長野市(松代)</p> <p>③テーマ:『健康・長寿』 自然の力で体の中からきれいになる 【首都圏発着型】須坂市・高山村・飯綱町</p> <p>④テーマ:『伝統・文化』 信州の暮らしに息づく伝統・文化 【着地型】小川村・長野市(戸隠)</p> <p>2 観光案内人に係る人材育成・連携 長野管内の観光地で、現地研修及び観光案内所職員等の情報交換会を開催する。 ①第1回 令和元年7月11日(戸隠) ②第2回 令和2年3月4日(須坂市) ⇒新型コロナウイルス対策により中止</p> <p>3 広域観光情報の発信 観光客が訪れる道の駅にデジタルサイネージを設置し、旬のイベント情報や長野地域の魅力を発信する動画を配信する。</p> <p>4 「体験と交流を軸とした広域観光」の長野地域全体への波及 令和2年2月12日 長野地域観光戦略会議の開催</p>			
	事業期間	平成31年4月		～	令和2年3月
等	成果目標 (成果指標)	<p>1 ①観光客に訴求するモデルツアーの造成 ②モニターツアーによる評価とフィードバック</p> <p>2 市町村の枠を越えた長野地域全体の広域的な観光案内の促進</p> <p>3 観光客の満足度向上と周遊促進</p>			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	モニターバスツアーの催行	事業委託他	1,772,482		
	観光案内人に係る人材育成・連携	観光案内力向上のための研修会開催	46,500		
	広域観光情報の発信	デジタルサイネージ設置・制作	155,652		
	体験と交流を軸とした広域観光の波及	長野地域観光戦略会議の開催	40,740		
	合計		2,015,374		
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価		
	<p>1 モニターツアーの開催</p> <p>①令和元年10月18日 テーマ「産業」 参加者15名</p> <p>②令和元年11月16日 テーマ「歴史」 参加者23名</p> <p>③令和元年11月23日 テーマ「健康・長寿」 参加者41名</p> <p>④令和元年11月30日 テーマ「伝統・文化」 参加者19名</p> <p>2 観光案内力向上のための研修会開催 ・令和元年7月11日 長野市戸隠エリア 参加者31名</p> <p>3 デジタルサイネージ設置・制作</p> <p>4 長野地域観光戦略会議の開催 ・令和2年2月12日</p>	<p>1 モニターツアーの開催により、一般観光客による評価の獲得、首都圏を対象としたツアー催行のノウハウの蓄積が出来た。また、台風19号被災直後のツアー催行であったため、風評被害の払拭、観光誘客に向けたPRが行えた。</p> <p>2 戸隠の歴史や竹細工、ユニバーサルツーリズムへの取り組み等特長を生かしたガイド研修を実施できたことにより、新たな情報の共有、交流の場とすることができた。</p> <p>3 デジタルサイネージにより市町村との連携による観光情報の相互発信ができた。</p> <p>4 観光戦略会議の開催により、モニターツアー開催のフィードバックやサイクルツーリズムの取り組み等広域観光推進の情報共有が図られた。</p>	<p>◎ 期待以上</p> <p>○ 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>		
今後の方向性	・市町村、団体、民間事業者等との連携による「学びツーリズム」の普及・実施を図るための伴走支援とともに、Webプロモーションによるモデルルート、観光素材等の情報発信をすることで地域の取り組みの下支えを図る。				